



□ 七曲がり

三久保町の通りから、久保町方面へかけての細い路地は通称「七曲がり」と呼ばれている。このあたりはかつて武家地だったところで、敵の襲撃に備えて身を隠すために屈曲した道をつくったといわれ、城下町川越の名残りである。ここほどではないにしろ、市内随所に見ることができる。